



# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



4月号

令和4(2022)年度

4月6日(水)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## 「楽しく 安全・安心 自然の中で育つ檜原の子」

校長 下川 耕史

木々が色とりどりに花を咲かせ、日ごとに山々の緑も鮮やかになって参りました。喜ばしい春の装いと共に、新しい年度の始まりに心躍らせる高揚感を感じます。保護者の皆様には、お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今年度より、本校の校長となりました下川耕史と申します。伊豆諸島の最南端、青ヶ島（東京都です）にある、青ヶ島小学校からやって参りました。9kmで一周してしまう大変小さな島にある、全校児童8名の学校でした。景色が海から山となりましたが、子供たちの元気な声は変わりません。今年度の檜原小学校の入学児童数は14名、全校児童63名と、大変賑やかなスタートだと感じております。

年度当初となりますので、ここに檜原小学校の教育目標を示しておきます。

### ○進んで学ぶ子

「学ぶ楽しさを知り、自ら学びに向かう子供」（問題解決力）・・・重点目標

### ○思いやりのある子

「自己肯定感を基に自他を大切にし、人間関係を形成していく子供」（人間関係形成力）

### ○たくましく生きる子

「強い意志をもち、何事においても最後まで努力し続ける子供」（七転び八起の力）

本校が子供たちに付けさせていきたい具体的な資質・能力を上記（ ）内のように明記しました。本校が目指す具体的な子供の姿は「 」内に明示しました。上記教育目標の下、教職員一同、次のことを念頭に置きながら、日々の教育活動を進めていこうと考えています。

## 【 楽しく 安全・安心 自然の中で育つ檜原の子 】

**【楽しく】**子供たちにとって、学校は楽しい場でなければなりません。厳しさももちろん併せもちますが、毎日通いたくなるような学校作りをしていきます。子供たちにとってだけでなく、保護者や地域の方々、教職員にとっても楽しい場であるよう努めて参ります。

**【安全・安心】**子供たちが学び、自分の力を存分に発揮できるためには、安全で安心できる環境が必要不可欠です。この2年ほど、新型コロナウイルス感染症の影響も大きいですが、安全な環境作りを心がけます。子供たちがゆとりをもって過ごすことができるよう、心の環境整備も進めます。

**【自然の中で育つ檜原の子】**昨今 ICT化が進み、学校でも急速にデジタル機器が増えてきています。大変便利で、効果的に使うことは、教育にも生活にも有意義なことこの上もありません。しかし、人間が生きていく上で、これからも生き物や土と共に生きていくことは変わりません。また、小学校に通う幼少期に、実体験を伴いながら自然に触れることで培う力は、人間形成の土台としても重要です。前任の乙津校長が唱えた「体験のシャワー」には、大変共感しております。実体験を伴う豊かな教育活動を進めていきます。

地域や保護者の皆様と共に、子供たちの輝かしい未来に資する学校を作って参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

